



「楽水乐山」は、住田高等学校の生徒・保護者の他、町民向け情報紙です。本校の教育活動や生徒の活動の様子を広くお知らせするため発行しております。

1 生徒総会

5月8日(水)、前期生徒総会が行われました。今年度の前期生徒会活動では昨年度後期の反省点をもとに、「爽やかなあいさつ」「きちんとした服装・態度」「まじめな仕事ぶり」という3つの方針を立てて取り組んでいくことが確認されました。委員会や部活動の活動方針についても、各クラスから積極的に質問や意見が出され、熱心な話し合いが行われました。また、議事終了後、生徒会長から「いじめのない、明るく楽しい学校づくり宣言」がなされ、いじめのない学校にしていくことを全校で確認しました。



《いじめのない、明るく楽しい学校づくり宣言》

- 1 相手が嫌だ、苦痛だと感じた時点でいじめです。
- 2 いかなる場合でも、いじめは決して許される行為ではありません。
- 3 いじめをはやし立てたり、傍観したり、知らないふりをする行為も決して許されません。
- 4 いじめをとめる勇気をもちましょう。
- 5 色々な個性があります。お互いに受け入れましょう。
- 6 もう一度、自分が人間として正しいことをしているかどうか思い返してみましょう。

令和元年5月8日



《宣言を行う
生徒会長の
菅野夢貴さん》

2 開校記念講演会



《池上 惇 先生》

5月12日（日）PTA総会に先立ち、京都大学名誉教授の池上惇先生を講師としてお迎えし、開校記念講演会が行われました。池上先生は平成30年5月に「ふるさと創生大学」を住田の地に創設され、学長を務めていらっしゃる方です。住田高校の開校記念日は5月8日ですが、記念講演会については、例年PTA総会の開催日に行っています。

講演は「学習社会の創造—人生の師と未来を担う世代との学びあい育ちあいの場を—」という演題で行われました。「地域に先生はたくさんいる、一人ひとりの人間を師として見る」「人の話をよく聞いて正確に理解できる力が必要」「要約して自分の意見を書く練習をする」「体験学習を通して身体を使うことが大事」等、示唆に富む講演内容で、住高生への貴重な提言となりました。

3 交通安全講話

5月15日（水）のLHR時に交通安全講話を行いました。講師は大船渡警察署世田米駐在所の佐々木千加子さんと大船渡警察署生活安全課の吉田直樹さんです。佐々木さんからは自転車の乗り方について、吉田さんからはSNSの使い方についてお話いただきました。最近、交通事故等のニュースが多いですが、交通安全やSNSについての基礎知識を知り、注意点を意識していくことで、被害者や加害者にならないように生活していく決意を新たにしました。



《講師の佐々木千加子さん》



《講師の吉田直樹さん》



《熱心に講話を聞く生徒たち》

4 「小さな親切」実行章表彰

5月17日（金）に岩手銀行世田米支店長の吉田新吾様が来校され、本校校長室で「小さな親切」実行章の贈呈式が行われました。これはNPO法人・桜ライン311が行っている桜の植樹作業に、ボランティアとして参加したことが評価されたものです。昨年の12月に現2年生が陸前高田市小友町内でオオヤマザクラ、ベニシダレザクラ、シキザクラ計3種類を同法人スタッフの方の指導を受けながら穴掘り、苗木定植を行いました。本校ではこのボランティア活動を平成25年から6年連続で行っています。生徒代表として2年生の長谷川馨遙さんが実行章を受け取り、今後も生徒全員が一丸となってボランティアや地域貢献活動を積極的に行っていく決意を述べました。



《文責：副校長 菅野 幸貴》